



Hello CONCS!!

Vol.250
2021.1



●発行者/
コンクスクラブ事務局
コンクスハウジング
代表取締役 熊井戸美佐夫
●発行年月日/
第250号 2021年1月
●HCO-1-251

コンクスクラブ情報発信地 **ハローコンクス** 笑顔が大好き。コンクスハウジング 〒370-0006 高崎市問屋町3-9-5
TEL. 027-370-6670 (代表)

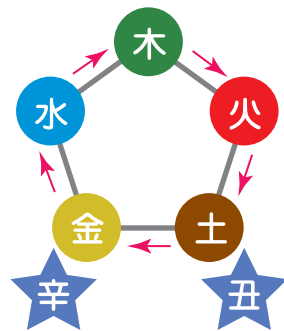
2021年はどんな年に?

さて、2021年が始まりました。今年はどうなるのでしょうか。昨年は新型コロナウイルスの影響で大変な年になりました。世界中でもさまざまな変化のあった一年でした。なんとなく時代の変り目のような雰囲気があります。そこで今年はどうなるのか。ここでは2021年の干支をヒントに予想していききたいと思います。

2021年の干支は「辛丑(かのとうし)」

2021年の干支は「丑年」。厳密には「辛丑」。そもそも干支とは、十干という数え方と十二支という数え方を組み合わせたものです。十干は10で一巡する数え方で、十二支は皆様ご存じの通り、12で一巡するもので一般的に「干支」と呼んでいるものは十二支であることが多いです。2021年は十干の8番目の「辛(かのと)」、十二支の2番目にあたる「丑(うし)」です。十干と十二支の組合せは60通りありますが、「辛丑」は38番目の数字となります。そしてそれぞれ年の傾向が異なります。またそれも興味深いですね。

では「辛丑」とはどんな傾向があるのでしょうか?十干は「木・火・土・金・水」の5つの性質(五行)に分けることができ、辛は「金」を意味します。また十二支にも五行があり、「丑」は土にあたります。



土と金は隣同士ですよ。このような隣同士の関係を「相生(そうしょう)」と言います。隣同



士は相性が良いのです。なので、2021年は順調な年に……と言いたところですが、あれだけの事があった2020年も実は相生だったのです。これらの事を踏まえ、2021年はどうなのでしょう。十干と十二支は、それぞれ植物の一生を表しており「辛」は草木が枯れ、新しくなろうとしている状態。「丑」は土の中で種から芽が出ようとする状態です。つまり「新しくなろうとしている」「芽を出そうとしている」と良いイメージの傾向ですが、但し文字からもわかるように「辛」はからい、つらいという意味も含まれていますので、痛みは伴うけれど、それを乗り越えれば下にあるエネルギーが上に出現するという事なのです。このことから2021年は、まさに転換期の年になるでしょう。転換期だからこそ、下を向かずに上に向かって挑戦する!上に手を伸ばして、何かをつかもうとする!そんな強い気持ちで臨むと未来が見えてくるのではないのでしょうか?ちなみに1サイクル前の辛丑は1961年、坂本九さんの「上を向いて歩こう」が大ヒットした年でした。なんだか感慨深いですね。

コンクス・STAFF

今月のつ・ぶ・や・き

こんにちは。営業部の松下です。先日血糖値の検査をしてきました。元々注射は気にしない方ですが、左右交互に30分おきに5回の採血でしたので少し緊張しました。それでも殆んど痛みがなく、さすがプロという感じ!後は自分自身で食生活と適度な運動の体調管理をしっかりとしていきたいです!

営業 松下 栄 進

是非
ご覧ください

コンクスハウジングのホームページが
リニューアルしました



新ホームページはこちら

